



高速排水量型船の設計における船舶流体力学

船型設計において、CFD（数値流体力学）は既に確立されたツールとして、実用に供されています。しかし、今日においてもなお、新船型開発の設計スパイラル初期では、造波抵抗理論やランキン・ソース法などをベースにした理論計算法は欠かせないツールの一つです。さらに、高速排水量型船型では、理論の仮定にもマッチすることから、造波抵抗理論に基づく船型最適化手法が用いられることもあるでしょう。このように、船型設計では段階や目的に応じていくつもの船舶流体力学の計算手法が実用に供されています。今回のKFRセミナーでは、高速排水量型船型に焦点を当て、その性能設計における船舶流体力学の役割を、理論と実際の両面から皆様と共有し、意見交換をしたいと考えております。ご関心をお持ちの多数の方々のご参加をお待ちしております。

KFR 会長 梅田 直哉

— 記 —

第 339 回 KFR セミナー

- 日時：2018年2月23日（金）14:00 ～16:50
- 会場：大阪大学 中之島センター 講義室507
大阪市北区中之島4-3-53
<https://www.onc.osaka-u.ac.jp/others/map/index.php>
- 参加費：無料，要事前登録

・ 漁船を考える

川島 敏彦（元水産工学研究所）

漁船の設計や船舶流体力学の役割を主眼に、最近経験した二つの船型開発の事例（小型さんま漁船（19GT）、定置網漁船（19GT））を紹介し、どのような視点と手法でアプローチしたか、その結果はどうであったのかを述べる。この開発過程で知った知見や漁船に関わる諸要因（管理、ルール、変遷など）を含め「漁船の船型設計における特殊性とは何か？」について考えてみたい。これにより内容の是非やご意見をいただければ幸いです。

・ 船型設計への造波抵抗理論の応用（仮題）

佐久間 俊（防衛装備庁長官官房艦船設計官付首席主任設計官）

KFRでは、佐久間様より高速排水量型船型について、極小造波抵抗理論を用いた船型設計手法について、その理論背景に加え、数値計算方法をご説明いただくことをお願いしております。また、本理論を適用した具体例についてもお示しいただくこともお願いしております。

ご参加のお申し込みは、2月9日（金）までに下記連絡先までお願い致します。
セミナー終了後、懇親会（1700開始、2階カフェレストラン「スコラ」、一般＝5,000円、学生＝3,000円）も予定しています。こちらにもぜひご参加ください。お手数ですが、懇親会への参加希望についても併せてご連絡をお願い致します。また、懇親会欠席のご連絡は前日までお願い致します。

ご参加申し込み連絡先：関西船舶海洋流体力学研究会（KFR）事務局
牧 敦生（大阪大学大学院工学研究科）
TEL：06-6879-7579 FAX：06-6879-7594
E-mail：maki@naoe.eng.osaka-u.ac.jp

会場までのアクセス



※大阪大学中之島センターの正面玄関は中之島通に面しております。10階建ての最上階がガラス張りで薄緑色に見える建物が大阪大学中之島センターです。

●電車によるアクセス

- 京阪中之島線 中之島駅より 徒歩約5分
- 阪神本線 福島駅より 徒歩約9分
- JR東西線 新福島駅より 徒歩約9分
- JR環状線 福島駅より 徒歩約12分
- 地下鉄四つ橋線 肥後橋駅より 徒歩約10分
- 地下鉄御堂筋線 淀屋橋駅より 徒歩約10分

●バスによるアクセス

大阪市バス (53系統) :

大阪駅前バスターミナル → 中之島四丁目 (旧玉江橋) 下車 徒歩1分

大阪市バス (75系統) : 大阪駅前バスターミナル → 田蓑橋 下車 徒歩1分

北港バス (中之島ループバス ふらら) :

淀屋橋発 (土佐堀通/住友ビル前) → 大阪大学中之島センター前 下車 徒歩1分

※タクシーでお越しの際は、近隣施設や建物に中之島センタービル等類似した名称の建物がございますので、「大阪市立科学館 北側の『大阪大学中之島センター』」とお伝えください。

以上